

個別施設計画

策定年月 H30.1

施設名	勝間田高等学校		所在地	勝田郡勝央町勝間田47	
敷地面積	3,578,182.44 m ²		棟数	104 棟（計画記載対象 24 棟）	
延床面積	28,202.49 m ²			※対象は200㎡以上の建物（車庫、倉庫等は500㎡以上） ※公舎・寮は全て対象	
設置目的	高等学校教育のため				
【想定される自然災害】					
予想震度 5弱		津波 -		浸水 -	
建築規制	第二種中高層住居専用地域 建ぺい率60%、容積率200%				
エネルギー使用量 （ 2016 年度 ）	電気 255,877 kwh	ガス 89 m ³	水道 6,255 m ³	燃料（ 灯油 ） 13,297 0	
管理上の 特記事項	敷地内未利用地 71,323.62㎡ 敷地内貸付地 なし 勝央町避難所 協定による避難所				

1 施設内建物の概況

名 称	体育館棟(93棟)25	教室棟(95棟)1-1	教室他棟(105棟)1-2
築年(西暦)	1960 年	1962 年	1963 年
構 造	鉄骨 造 2 階	鉄筋コンクリート 造 3 階	鉄筋コンクリート 造 3 階
建築面積	877.08 m ²	303.83 m ²	482.55 m ²
延床面積	1013.79 m ²	917.82 m ²	1,453.98 m ²
主要な用途 (室名等)	体育館	化学・生物教室 会議室	校長室 事務室 教務室
主要な設備 (屋外を含む)	—	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備
利用状況	中	中	中
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2 適	不適	不適
	中性化 ※3 不適	不適	不適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4 適	適	適
	地盤沈下 ※5 適	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	消火設備	消火設備

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≧0.6(震度6強〜7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	特別教室棟(106棟)2	教室他棟(113棟)3	演習林実習室棟(131棟)75
築年(西暦)	1964 年	1965 年	1968 年
構 造	鉄筋コンクリート 造 3 階	鉄筋コンクリート 造 3 階	鉄骨 造 1 階
建築面積	281.55 m ²	397.67 m ²	230.48 m ²
延床面積	844.65 m ²	1,192.10 m ²	230.48 m ²
主要な用途 (室名等)	調理実習室 被服実習室	マーケティング講義室 保健室 普通教室	演習林実習室
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 給排水設備 消火設備	空調設備 消火設備	給排水設備
利用状況	中	中	中
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	不適	適
	中性化 ※3	適	適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	消火設備	外壁

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	格技場棟(132棟)23-1	農業実験室棟(135棟)77-1,2	農業実習室棟(137棟)79
築年(西暦)	1969 年	1973 年	1976 年
構 造	鉄骨 造 1 階	鉄骨 造 2 階	鉄骨 造 1 階
建築面積	200.10 m ²	403.80 m ²	340.00 m ²
延床面積	200.10 m ²	805.80 m ²	340.00 m ²
主要な用途 (室名等)	格技場	農業機械実習室 生物活用実習室	農業実習室
主要な設備 (屋外を含む)	—	消防設備(自動火災報知設備) 給排水設備	—
利用状況	中	中	中
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	
	中性化 ※3	適	
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	作物農業機械実習室棟(143棟)84	格技場棟(147棟)23-3	林業等実験室棟(149棟)87
築年(西暦)	1979 年	1971 年	1980 年
構 造	鉄骨 造 1 階	鉄骨 造 1 階	鉄筋コンクリート 造 2 階
建築面積	250.00 m ²	239.25 m ²	528.00 m ²
延床面積	250.00 m ²	239.25 m ²	924.00 m ²
主要な用途 (室名等)	農業実習室 農機具実習室	格技場	農林土木実習室 食品加工実習室
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 給排水設備	—	消火設備
利用状況	中	中	中
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	不適	適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	屋根	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	図書館・会議室棟(151棟)88-1	歴史資料室棟(152棟)88-2	実習棟(158棟)92
築年(西暦)	1981 年	1981 年	1987 年
構 造	鉄筋コンクリート 造 3 階	鉄筋コンクリート 造 1 階	鉄骨 造 1 階
建築面積	m ²	215.42 m ²	565.22 m ²
延床面積	423.36 m ²	215.42 m ²	565.22 m ²
主要な用途 (室名等)	図書室 会議室	歴史資料室	機械工作実習室 原動機実習室
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備	消防設備(自動火災報知設備)
利用状況	中	中	中
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2 適	圧縮強度 ※2 適	
	中性化 ※3 適	中性化 ※3 適	
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4 適	建物傾斜 ※4 適	適
	地盤沈下 ※5 適	地盤沈下 ※5 適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	外壁

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	材料試験実習室棟(162棟)93	農場管理棟(163棟)94	林業実習棟(164棟)95
築年(西暦)	1988 年	1991 年	1993 年
構 造	鉄骨 造 2 階	鉄筋コンクリート 造 3 階	鉄筋コンクリート 造 2 階
建築面積	331.54 m ²	236.70 m ²	473.93 m ²
延床面積	658.77 m ²	709.43 m ²	871.84 m ²
主要な用途 (室名等)	材料試験実習室 生徒作業準備室	農業管理実習室 バイオ実験室 農業経営実習室	林産加工実習室 測量実習室 林産化学実験室
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備)	—	—
利用状況	中	中	中
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2 中性化 ※3	圧縮強度 ※2 中性化 ※3	圧縮強度 ※2 中性化 ※3
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4 地盤沈下 ※5	建物傾斜 ※4 地盤沈下 ※5	建物傾斜 ※4 地盤沈下 ※5
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	体育館棟(166棟)97	部室・更衣室棟(180棟)103-1,2	農業機械実習室棟(182棟)104
築年(西暦)	1995 年	1998 年	2000 年
構 造	鉄骨 造 2 階	鉄骨 造 2 階	鉄骨 造 1 階
建築面積	1366.86 m ²	237.71 m ²	252.00 m ²
延床面積	1545.66 m ²	475.41 m ²	252.00 m ²
主要な用途 (室名等)	体育館	体育器具庫 部室・更衣室	農業機械実習室
主要な設備 (屋外を含む)	電力設備(受変電設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	—	—
利用状況	中	中	中
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2 中性化 ※3	圧縮強度 ※2 中性化 ※3	圧縮強度 ※2 中性化 ※3
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4 地盤沈下 ※5	建物傾斜 ※4 地盤沈下 ※5	建物傾斜 ※4 地盤沈下 ※5
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	食品製造実習室棟(184棟)106	実習棟(190棟)107	農業機械室棟(192棟)109
築年(西暦)	2003 年	2006 年	2010 年
構 造	鉄筋コンクリート 造 2 階	鉄骨 造 1 階	鉄骨 造 1 階
建築面積	277.92 m ²	629.50 m ²	231.00 m ²
延床面積	555.84 m ²	629.50 m ²	231.00 m ²
主要な用途 (室名等)	農産加工実習室 製菓製パン実習室	動力実習室 整備実習室	農業機械室
主要な設備 (屋外を含む)	—	—	—
利用状況	中	中	中
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2 中性化 ※3	圧縮強度 ※2 中性化 ※3	圧縮強度 ※2 中性化 ※3
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4 地盤沈下 ※5	建物傾斜 ※4 地盤沈下 ※5	建物傾斜 ※4 地盤沈下 ※5
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適

※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適

※4 傾斜が有る場合は不適

※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

老朽化の進んだ建物について修繕、改修を行い、使用を継続する。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
体育館棟(93棟)25	予防保全を図る。
教室棟(95棟)1-1	設備等の定期更新を行う。(耐用年数まで使用したのちに改築等を検討する。)
教室他棟(105棟)1-2	設備等の定期更新を行う。(耐用年数まで使用したのちに改築等を検討する。)
特別教室棟(106棟)2	予防保全を図る。(耐用年数まで使用したのち、改築等を検討する。)
教室他棟(113棟)3	設備等の定期更新を行う。更新に当たっては、ユニバーサルデザイン化にも配慮する。
演習林実習室棟(131棟)75	予防保全を図る。
格技場棟(132棟)23-1	長寿命化改修を行う。
農業実験室棟(135棟)77-1,2	長寿命化改修を行う。
農業実習室棟(137棟)79	予防保全を図る。
作物農業機械実習室棟(143棟)84	長寿命化改修を行う。
格技場棟(147棟)23-3	長寿命化改修を行う。
林業等実験室棟(149棟)87	長寿命化改修を行う。
図書館・会議室棟(151棟)88-1	長寿命化改修を行う。
歴史資料室棟(152棟)88-2	長寿命化改修を行う。
実習棟(158棟)92	設備等の定期更新を行う。
材料試験実習室棟(162棟)93	設備等の定期更新を行う。
農場管理棟(163棟)94	設備等の定期更新を行う。
林業実習棟(164棟)95	設備等の定期更新を行う。
体育館棟(166棟)97	設備等の定期更新を行う。
部室・更衣室棟(180棟)103-1,2	予防保全を図る。
農業機械実習室棟(182棟)104	予防保全を図る。
食品製造実習室棟(184棟)106	設備等の定期更新を行う。
実習棟(190棟)107	予防保全を図る。
農業機械室棟(192棟)109	予防保全を図る。

3. 施設全体のスケジュール

(概 要)

- 1 設備等更新
劣化状況を確認しながら順次更新を行う。
- 2 長寿命化改修
中性化対策・屋上防水等を行うほか、内部・外部の改修を行う。
(149棟)2017年度施工
(132棟、147棟)2018年度設計、2019年度から施工
(135棟、143棟)2022年度以降設計・施工
(151棟、152棟)2024年度以降設計・施工

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
体育館棟(93棟)25	予防保全	予防保全を図る。									
教室棟(95棟)1-1	設備等の定期更新	屋上防水									
教室他棟(105棟)1-2	設備等の定期更新	屋上防水									
特別教室棟(106棟)2	予防保全	予防保全を図る。									
教室他棟(113棟)3	設備等の定期更新			トイレ洋式化						屋内消火栓	
演習林実習室棟(131棟)75	予防保全	予防保全を図る。									
格技場棟(132棟)23-1	長寿命化改修		設計	施工							
農業実験室棟(135棟)77-1,2	長寿命化改修									設計・施工 1	
農業実習室棟(137棟)79	予防保全	予防保全を図る。									
作物農業機械実習室棟(143棟)84	長寿命化改修							設計・施工			
格技場棟(147棟)23-3	長寿命化改修		設計 132棟に含	施工 132棟に含							
林業等実験室棟(149棟)87	長寿命化改修	施工 2									
図書館・会議室棟(151棟)88-1	長寿命化改修								設計・施工 1		
歴史資料室棟(152棟)88-2	長寿命化改修								設計・施工 151棟に含		

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
実習棟(158棟) 92	設備等の 定期更新									屋上防水・外壁改修	
材料試験実習 室棟(162棟)93	設備等の 定期更新									屋上防水・外壁改修	
農場管理棟 (163棟)94	設備等の 定期更新								屋上防水・外壁改修		
林業実習棟 (164棟)95	設備等の 定期更新								屋上防水・外壁改修		
体育館棟(166 棟)97	設備等の 定期更新									外壁改修	
部室・更衣室棟 (180棟)103- 1,2	予防保全	予防保全を図る。									
農業機械実習 室棟(182棟) 104	予防保全	予防保全を図る。									
食品製造実習 室棟(184棟) 106	設備等の 定期更新				屋上 防水						
実習棟(190棟) 107	予防保全	予防保全を図る。									
農業機械室棟 (192棟)109	予防保全	予防保全を図る。									

4. 概算費用

・総額 7億円(長寿命化改修 6億円、設備等更新 1億円)

5. 変更履歴

変更年月	変更内容
H31.3	教室他棟(113棟)において、設備等の定期更新を追加
R2.3	食品製造実習室棟(184棟)において、設備等の定期更新を追加
R4.3	実習棟(158棟)、材料試験実習室棟(162棟)及び体育館棟(166棟)において、設備等の定期更新のスケジュールを変更
R5.3	作物農業機械実習室棟(143棟)において、長寿命化改修工事のスケジュールを変更
R6.3	農場管理棟(163棟)において、設備等の定期更新のスケジュールを変更
R7.3	教室他棟(113棟)、農業実験室棟(135棟)、実習棟(158棟)、材料試験実習室棟(162棟)及び体育館棟(166棟)において、設備等の定期更新のスケジュールを変更